



# 三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

※据え付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SJ11BH(200V, 110W)	室外ユニット用 インバーターKシリーズ

## 据え付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策及びドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケット及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。

## 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



### 注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



### 警告

#### 据え付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

#### 据付工事部品は、必ず当社付属部品及び指定の部品を使用する。

- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

#### 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

#### 室外ユニットのサービスパネルを確実に取り付ける。

- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり、水などにより、感電・火災などの原因になります。



### 注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、爆発の原因になります。

#### アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

#### 電源には必ず漏電遮断器を取り付ける。

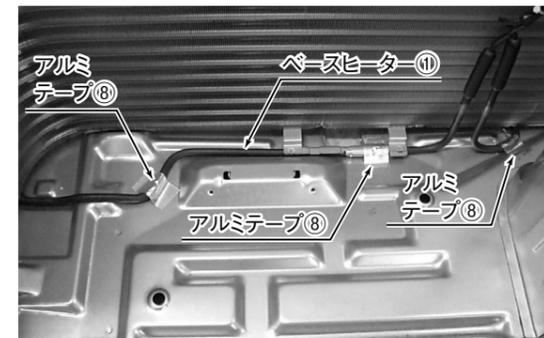
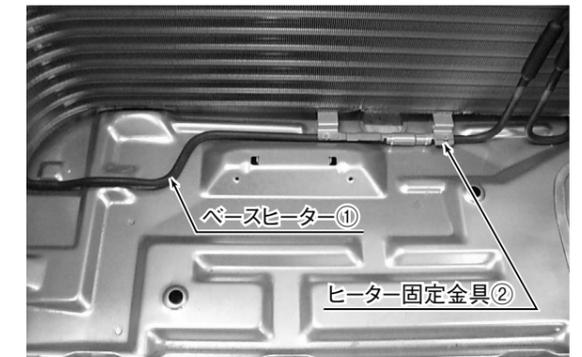
- 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

## 4. ベースヒーターの取り付け

- 熱交換器本体を持ち上げながらベースの溝に沿ってベースヒーター①を下図のように位置決めし、仮置きしてください。

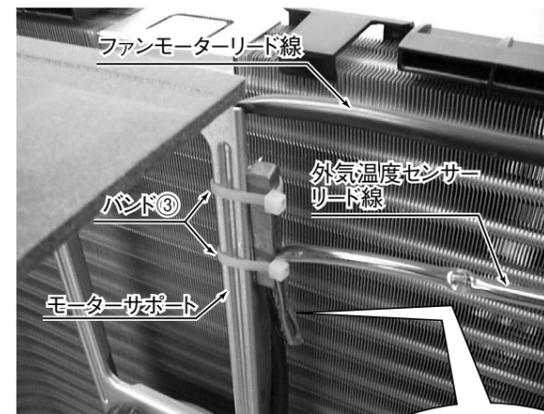


- 再び熱交換器を持ち上げヒーター固定金具②の凹部を、ベースのドレン穴近傍の凸部に合わせ下図位置に仮固定し、熱交換器の下敷となるように位置決めをしてください。

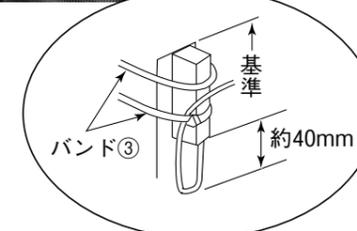


- 左図のように、ベースヒーター①を付属のアルミテープ⑧で3箇所固定してください。

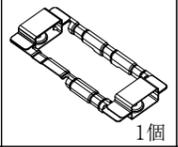
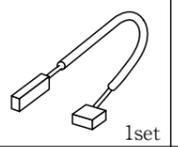
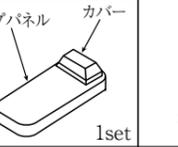
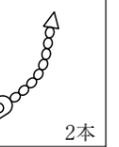
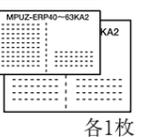
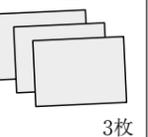
## 5. 外気温度センサーの取り付け



- 外気温度センサー④の感知部に貼り付けの両面テープ離けい紙をはがし、モーターサポートのフランジ上面を基準に、リード線を下方に向け貼り付けてください。
  - 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2箇所をバンド③で固定します。下側のバンドに外気温度センサーの感知部、外気温度センサーのリード線、ファンモーターのリード線を固定し、上側は外気温度センサーの感知部、ファンモーターリード線を固定します。
- なお、ファンモーターリード線が外気温度センサー④の感知部に触れると正確な作動が出来なくなりますので、図のようにリード線をモーターサポート裏面に沿って固定してください。



1. **部品の確認** この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取り付け前にご確認ください。

品番 品名	①ベースヒーター	②ヒーター固定金具	③バンド	④外気温度センサー	⑤ベースヒーター 制御部本体	⑥ファスナー
形状	 1set	 1個	 2本	 1set	 1set	 2本
品番 品名	⑦配線名板	⑧アルミテープ				
形状	 各1枚	 3枚				

2. **取付準備** ※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据え付ける前に行っていただく方が容易にできます。

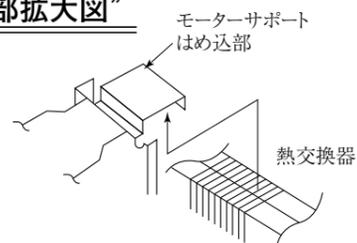
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付けの為、多くのネジをとりはずします。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミなどの除去を十分に行ってください。
- 熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手などの保護具を着用してください。

3. **ベースヒーター組込準備**

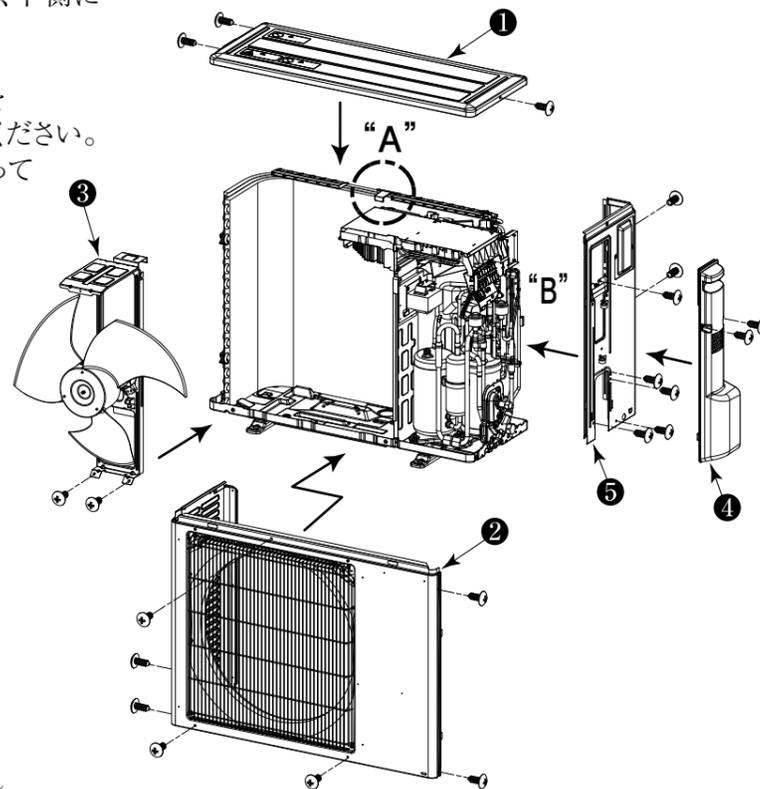
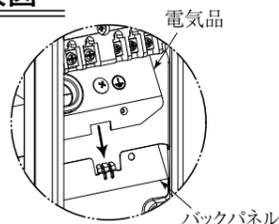
次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットからとりはずし、ヒーターの組み込み準備を行います。

- ① **トップパネルのとりはずし**  
トップパネル取付ネジ(左2本、右1本)をはずし、上側に持ち上げてとりはずしてください。
- ② **フロントパネルのとりはずし**  
フロントパネル取付ネジ(前3本、右2本、左2本)をはずし、前側に引き出しとりはずしてください。
- ③ **モーターサポートのとりはずし**  
モーターサポート取付ネジ2本をはずし、上側に持ち上げ熱交換器上部とのはめ合をはずして前側に引出してください。とりはずしたモーターサポートには、モーター用リード線が接続されていますので引張りがかからない状態でモーターサポートを横置きにしてから次の作業を行ってください。
- ④ **サービスパネルのとりはずし**  
サービスパネル取付ネジ(2本)をはずし、下側にスライドさせてからとりはずしてください。
- ⑤ **バックパネルのとりはずし**  
バックパネル取付ネジ(右5本、後2本)をはずし、上側に持ち上げてとりはずしてください。  
※バックパネルの爪が電気品に引っ掛かっていますのでご注意ください。

“A部拡大図”

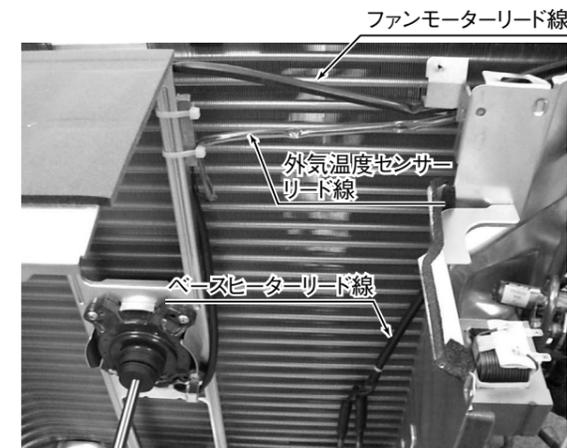


“B部拡大図”



6. **各リード線の固定**

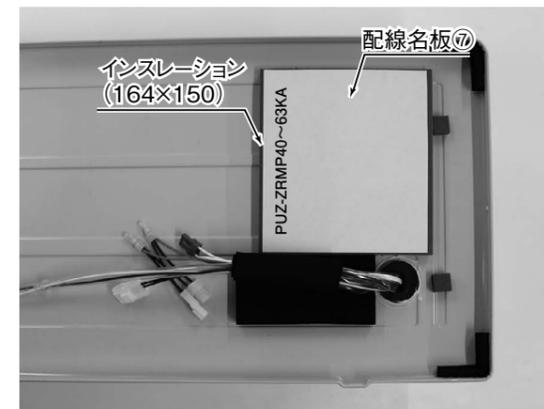
- 下図のように外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線をファスナー⑥で束ねた後、Uカット部に各リード線を通し、クランプを介して既設のリード線と一緒に固定します。



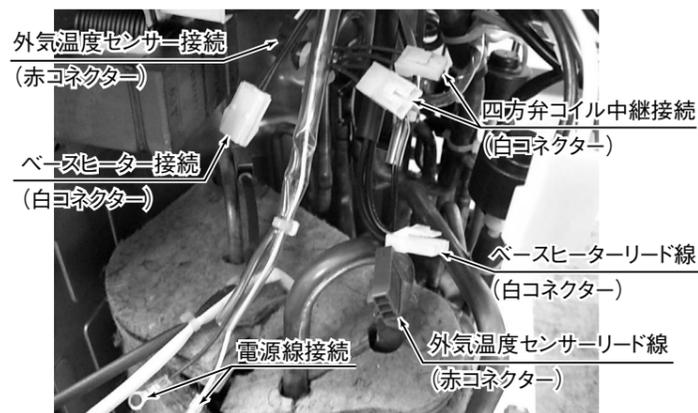
7. **配線名板の貼り付け**

ベースヒーター制御部本体⑤の裏側面に配線名板⑦を貼り付けます。  
なお、配線名板⑦はとりはずしたトップパネル裏側に貼り付けてある名板と同一品(同一形名品)を必ず選んでください。

- ベースヒーター制御部本体⑤の裏面側にあるインスレーション(164×150)に、配線名板⑦(160×143)をはみ出さないように図示の向きに貼り付けてください。



## 8. ベースヒーター制御部のリード線



- 図はベースヒーター制御部本体⑤を室外機本体に仮置きした状態を示します。各リード線については次の項に従い誤りのないように接続してください。

## 12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、リード線が冷媒配管などに当たらないよう、ファスナー⑥を使いリード線を固定してください。(11の図参照)

## 13. 再組立

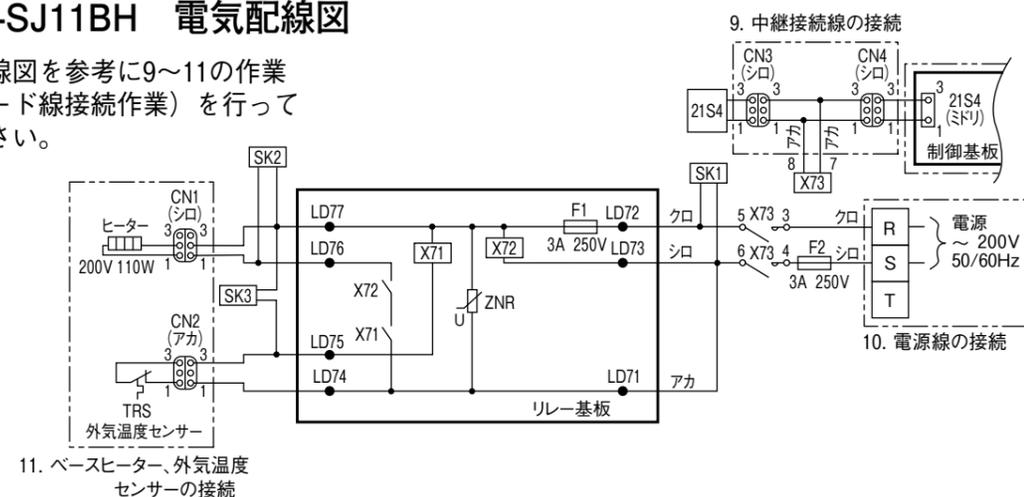
- 以上のようにベースヒーターの取り付け及び電気配線の接続が確実にされていることを必ず確認してください。とりはずした各々の部品を分解時の逆手順で取り付けてください。

### ⚠ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取り付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

## ☆PAC-SJ11BH 電気配線図

右配線図を参考に9～11の作業  
(リード線接続作業)を行って  
ください。

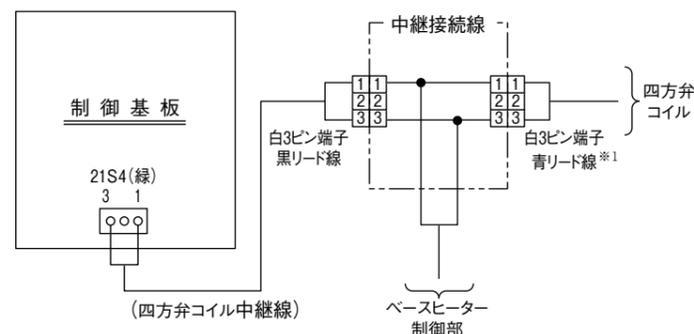


## 9. 中継接続線の接続

- 次の手順で作業を行ってください。

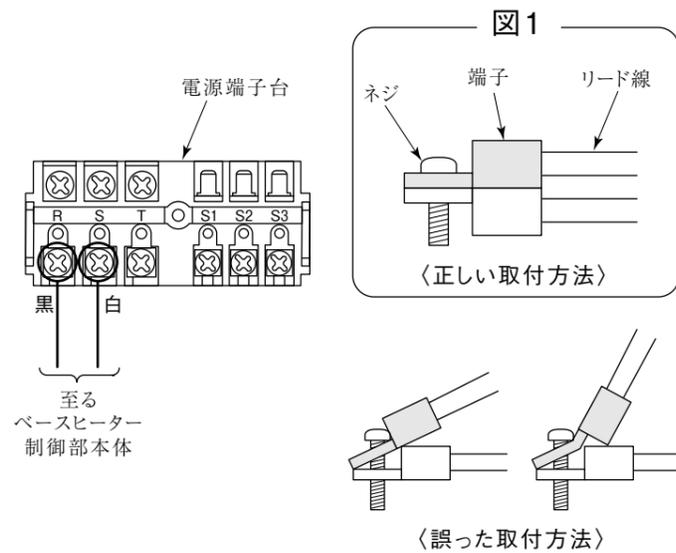
- 四方弁コイルと四方弁コイル中継線の白コネクタをはずしてください。  
なお、四方弁コイルは白の3ピン端子に青のリード線<sup>※1</sup>、四方弁コイル中継線は白の3ピン端子に黒のリード線が接続されておりますので誤りのないように注意願います。
- 四方弁コイル、四方弁コイル中継線、ベースヒーター制御部からのリード線をそれぞれ下記に従い接続してください。

※下図については電気品及び回路図を示します。位置関係を把握し誤りのないようにしてください。

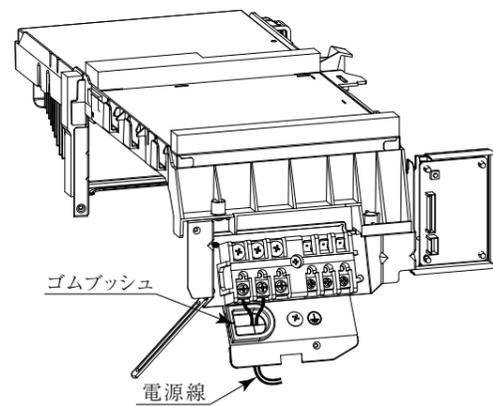


※1 室外機形名によっては赤のリード線となります。

## 10. 電源線の接続



- ベースヒーター制御部リード線からの電源線（黒色、白色）をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に現地配線の端子と共締めしてください。
- ※ 端子の向きは、必ず図のように取り付けてください。（図は三相機種の場合を示します）
- ※ 下図のように、電源線を接続する際は、電源線をゴムブッシュに通して接続してください。



### ⚠ 警告

端子の取り付けは、緩みのないように確実に締め付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

## 11. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 右図のとおり各 부품のリード線端子部の色（ベースヒーター：白、外気温度センサー：赤）とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線端子を接続してください。

